

自治体・企業等からの新規参加者を公募 ～ワンコイン浸水センサ実証実験～

浸水の危険性がある地域にセンサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施しています。

このたび、令和5年度に継続実施する実証実験において、追加のモデル地区となる自治体及びモデル地区において、自らの施設等に浸水センサを設置、管理する企業・団体等を公募します。

○実証実験の目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっております。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者がセンサを設置し、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

○公募内容

（１）対象者

- ①モデル地区となる自治体
 - ②浸水センサを自ら設置し管理できる企業や一般社団法人等の団体
- ※詳細は、別添公募実施要領をご覧ください。

（２）公募期間

- ①自治体：令和5年1月23日（月）～2月13日（月）17時まで
- ②企業・団体等：令和5年1月23日（月）～3月10日（金）17時まで

（３）公募説明会の開催について

- 1）開催日時：令和5年1月31日（火）14：00～
- 2）開催方法：WEB会議（Microsoft Teamsによるオンライン開催）
- 3）参加申込：別添公募実施要領 5.に従い、メールで申し込みください。
（〆切：令和5年1月30日（月）12：00まで）

※報道関係者等の傍聴も可能です。

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 外山(内線 35392)、係長 中村(内線 35394)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

河川内の観測（水位等）に加え、流域の観測（浸水状況）に取り組を拡大 ～ワンコイン浸水センサ実証実験準備会合への参加者を公募します～

流域治水の本格的な実践に向け、取り組みを加速化しているところです。豪雨による浸水被害が頻発するなか、堤防における越水や、周辺地域における浸水の状況を、速やかに把握し、迅速な災害対応や地域への情報発信を行うため、民間企業・地方自治体等と連携して、ワンコイン浸水センサを設置・情報共有を行い、リアルタイムで浸水状況の把握を行う実証実験を計画しています。

実証実験の実施に向け、仕様等を検討するため、「ワンコイン浸水センサ実証実験準備会合」を設置します。当準備会合に参画する民間企業・地方自治体等を募集します。

○公募概要

（１）公募期間 令和 3 年 9 月 1 0 日（金）～ 9 月 3 0 日（木）12 時まで

（２）公募対象

①センサ設置者：店舗や管理施設に浸水センサを設置・管理し、データ集約・共有が見込まれる民間企業・団体、自治体等

②センサ製造者：低コスト、長寿命なセンサが供給可能な民間企業・団体等

（３）公募要領 詳細の公募内容は別添 1 を参照ください

《公募説明会》

（１）開催日時 令和 3 年 9 月 1 6 日（木）13：30～

（２）開催方法 WEB 会議（Microsoft Teams を利用予定）

（３）参加申込 公募要領の様式－3 に必要事項を記載し、E-mail にて送付ください。その後、WEB 会議アドレス等を返信します。（詳細は別添 1 を参照）

（４）参加受付期間 令和 3 年 9 月 1 5 日（水）12：00 まで

※ワンコイン浸水センサとは、形状、価格もワンコイン程度（500 円玉を想定）の現地設置センサ及び受信機で浸水の状況が把握可能な検知システムを検討。

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室

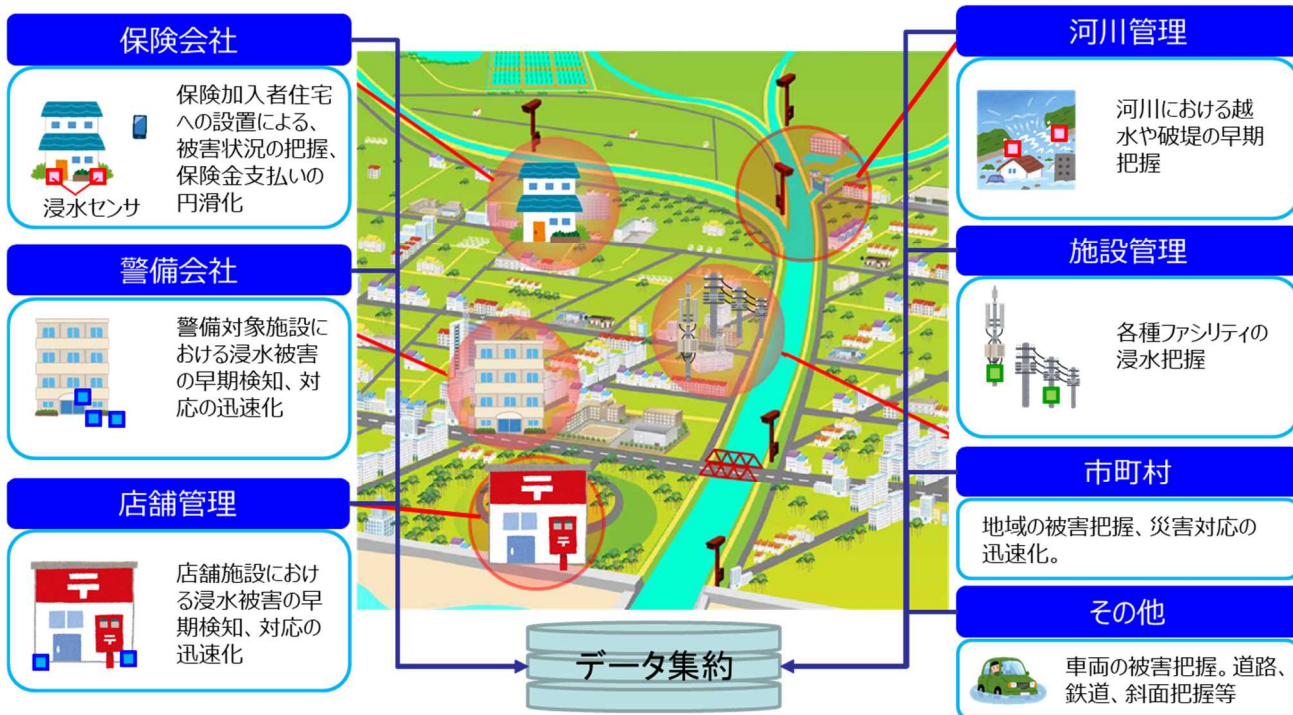
企画専門官 大坪（内線 35392）、係長 向山（内線 35394）

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX 03-5253-1602

○浸水情報の活用イメージ

■ 浸水センサの設置者が、被害状況の迅速な把握と対応の円滑化が可能となるとともに、それらの情報を参画企業等で共有することで、流域全体の災害対応力が向上。

■ そのため、浸水データの共有、効率的な管理を行う共通プラットフォームを構築



○全体スケジュール（案）



いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

【同時発表：気象庁記者クラブ】

令和 5 年 2 月 9 日

気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課

水管理・国土保全局 河川環境課

大河川から中小河川まで地域の洪水の危険度が一目で分かります

～洪水キキクルと水害リスクラインを一体化～

地域の洪水の危険度を一元的に確認できるよう、これまで別々に提供してきた「洪水警報の危険度分布」（洪水キキクル）と「国管理河川の洪水の危険度分布」（水害リスクライン）を気象庁ホームページ上で一体的に表示します。

- これまで、気象庁では、中小河川の洪水危険度を伝える「洪水警報の危険度分布」（洪水キキクル）を平成 29 年（2017 年）度から、一方、水管理・国土保全局では、国管理河川について、きめ細かな越水・溢水リスクを伝える「国管理河川の洪水の危険度分布」（水害リスクライン）を令和 2 年（2020 年）度から運用し、それぞれのホームページから提供してきました。
- 今般、気象庁と水管理・国土保全局では、これらの情報を気象庁ホームページの洪水キキクルのページで一体的に表示する取組を開始します。（詳細は別紙参照）
- これにより、地方自治体や住民の皆様が、それぞれの場所における詳細なリスク情報をワンストップで確認可能になることから、適切な避難の判断・行動に資することが期待されます。
- なお、水害リスクラインのページでは、これまで提供していた現時点の危険度に加え、6 時間先までの毎時の危険度などの閲覧も可能となります。

■ 一体的表示の運用開始日時：令和 5 年 2 月 16 日（木）13 時頃から

■ 洪水キキクルのページ：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

■ 水害リスクラインのページ：<https://frl.river.go.jp>

【問合せ先】

洪水キキクルに関すること：

気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 橋口・福井

電話 03-6758-3900（内線：4209・4206）

水害リスクラインに関すること：

水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 木村・高橋

代表：03-5253-8111（内線：35462）

直通：03-5253-8448

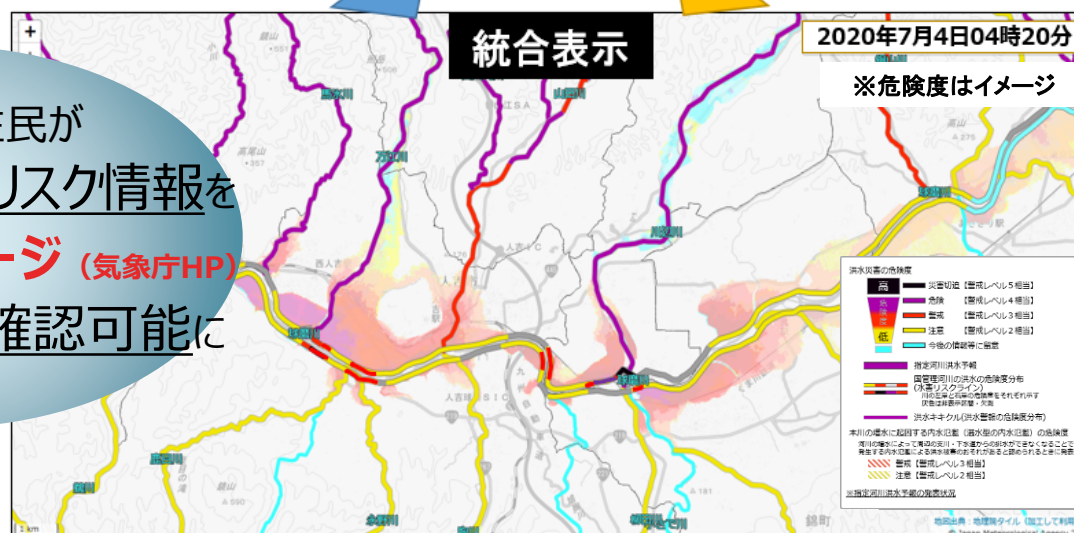
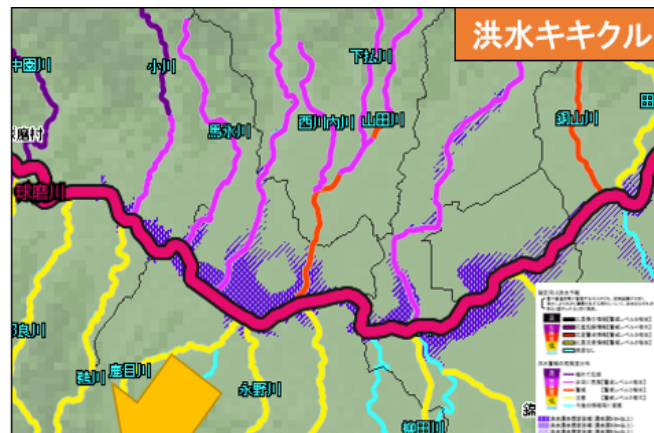
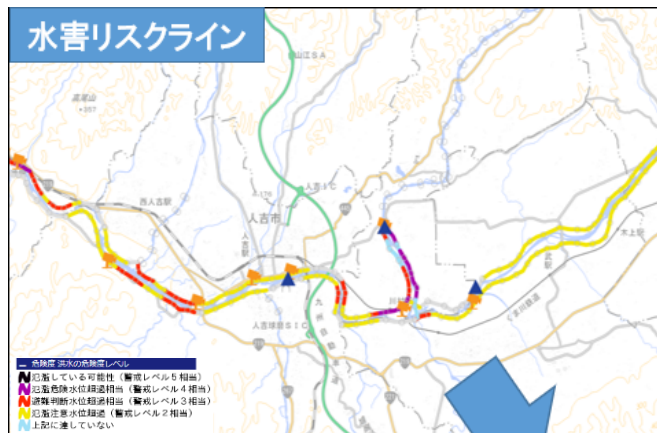
「国管理河川の洪水の危険度分布※」 （水害リスクライン）

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」 （洪水キキクル）

※ 中小河川の洪水危険度を伝える

国管理河川の詳細な予測情報は水害リスクラインで提供。



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ（気象庁HP）
でワンストップで確認可能に